

# 声かけのコツ

## 1歳半頃～

<あんステップさんに聞いてみよう>

例えば…



うちの子、言葉がゆっくりだから、「たくさん声かけして」って言われたけど、具体的にどうやったらいいの？

話しかけているけど、いまいち反応がないかも

子どもの発達は個人差があります。その子らしさを見つけ、温かく見守りましょう。

「声かけ」のコツについていっしょに考え、子育てを楽しみましょう



あんステップさん

## 1 子どもの注意をしっかりと引いてから声をかけましょう



- ①子どもの視界に入る。
- ②しゃがむ、抱っこするなどして、目線を合わせる。
- ③体に触れたり、手をにぎったりするなど、子どもの注意を親の方に向ける。

## 2 目に見える手がかりを使ってみましょう

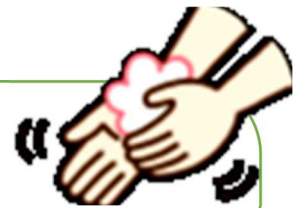
### ① 実物や写真



例 上着を見せて「外に行くよ」  
「これを着たら外へ行ける」という見通しがつく。

例 公園の写真（携帯で撮影）を見せて「公園に行くよ」  
ここは「こうえん」という名前だと分かりやすい。

### ② 身振り手振り



例 「手をあらうよ」と言いながら、手をこする  
身振りをする。

例 「ごみ捨てて」と言いながら、ごみ箱を指す。  
ここに捨てると分かる。動きを見て、動作とその言葉が  
つながりやすい。

### 3 言葉を選んで声かけしてみよう



#### ① ポジティブな表現で

例 「走り回らない」 → 「椅子に座るよ」  
「歩くよ」

例 「お茶をこぼさないで」 → 「コップをぎゅっと持つよ」  
「お茶を見て飲むよ」

どんな行動をすればいいか具体的に分かりやすい。  
叱られた感じにならない。

#### ② 具体的に

例 「きちんと片づけてね」 → 「おもちゃはこの箱に入れてね」

例 「そこに座って」 → 「この椅子に座って」

あいまいな表現では理解しにくい時がある。



#### ③ 短く伝える

例 「急いでいるから、早くくつはいて」  
→ 「くつはくよ」

例 「手を洗ってからおやつを食べるよ」  
→ 「手を洗おう」「おやつを食べるよ」

長い文章だと、今何をするか分からない時がある。

## こんな時にご相談ください

音への反応はあるが、名前を呼んでも振りかえることが少なく、マイペース。

大人の言っていることがほとんど理解できていないようだ。

など・・・

3歳児健診前のお子さんは市保健センターへご相談ください  
(76-1133)

3歳児健診後のお子さんはあんステップへご相談ください  
(77-7796)

<参考資料> 発達障害情報・支援センター

「1歳半～2歳半の子どもを持つ保護者の方へ 声かけのコツ」

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童思春期精神研究部

### 安城市子ども発達支援センター

#### あんステップ

開館 月～土（祝日・年末年始を除く） 8：30～17：15

〒446-0043 安城市城南町2丁目10番地3

電話：0566-77-7796

FAX：0566-77-7785